



東北大学

平成23年10月12日

報道機関 各位

東北大学

学術研究フォーラム 第5回 学術シンポジウム
「科学の限界と技術の限界？」—「想定外」を考える—

「学術研究フォーラム」は、学術の振興と社会発信を願う研究者たちによって平成14年4月に設立された任意団体で、これまで学術研究セミナー、シンポジウム、懇談会等を開催してきました。

今回は、東日本大震災で被災した仙台で、(独)日本学術振興会、東北大学とともにシンポジウムを開催することになりました。

今年3月11日(金)の東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した大津波、及び大地震と大津波により引き起こされた深刻な原子力事故(福島第一原子力発電所事故)は、戦後最悪の災害となりましたが、多くの研究者にとって「想定外」で済ますことは許されないことから、これらを、科学の限界と技術の限界?といった視点から議論することを企画しました。

研究者はもとより、技術者、企業関係者、ジャーナリストをはじめ、市民の皆様方等各方面の方々にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時：平成23年10月29日(土) 14:00~17:30
場 所：東北大学片平キャンパス エクステンション教育研究棟2階講義室201A
主 催：学術研究フォーラム、(独)日本学術振興会、東北大学

プログラム：

総合司会；東北大学研究担当理事 飯島敏夫

- 1 開会挨拶 阿部 博之
(学術研究フォーラム代表幹事、科学技術振興機構顧問、東北大学元総長)
- 2 挨拶 安西祐一郎 ((独)日本学術振興会理事長)
- 3 歓迎の挨拶 井上 明久 (東北大学総長)
- 4 特別講演① 「Bridging the Gap between Science and Practice in Seismology
—Lessons from the 2011 Tohoku-oki Earthquake —
(科学と実践 — 2011 東北地方太平洋地震の教訓 —)」
金森 博雄 (カリフォルニア工科大学名誉教授)
- 5 特別講演② 「福島第一原発事故の分析と教訓」
奈良林 直 (北海道大学大学院工学研究院教授)
- 6 パネル討論会

司 会 石井 紫郎

(学術研究フォーラム代表幹事、日本学士院会員、東京大学名誉教授)

シンポジスト 金森 博雄 (カリフォルニア工科大学名誉教授)

奈良林 直 (北海道大学大学院工学研究院教授)

首藤 伸夫 (東北大学名誉教授)

長谷川 昭 (東北大学名誉教授)

芳賀 満 (東北大学高等教育開発推進センター教授)

7 閉会挨拶 石井 紫郎

お申し込み：定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただきます。(10月24日(月) 〆切)

【インターネットの場合】

Web掲載の「参加受付フォーム」(近日公開)にお名前、ご所属区分、所属機関名、ご連絡先をご記入の上送信ください。

【FAXの場合】

A4用紙(書式自由)に「学術シンポジウム参加」と明記の上、お名前、ご所属区分(大学関係者及び研究機関、高専、企業、報道機関、学生、その他等)、所属機関名、ご連絡先(e-mailまたはTEL)をご記入いただき、022-217-4841まで、お送りください。

(お申し込み・お問い合わせ先)

東北大学研究協力部研究協力課

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1

E-mail : forum@bureau.tohoku.ac.jp

電話 : 022-217-4840 FAX : 022-217-4841

URL : <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2011/10/event20111004.html>